

品質保証検討グループ
2006年度 第1回会合 議事録 (案)

日 時 : 2006年6月23日 (金) 13:30~17:30
場 所 : 原子力機構システム計算科学センター 第1大会議室
出席者 : 吉田 (武蔵工大)、中島 (京大炉)、上松 (東芝)、田原 (EDC)、瑞慶覧 (ナイス)、
須山、奥村、石川、柴田、岩本 (JAEA)、山野 (東工大) 以上 11 名 (敬称略・
順不同)

配布資料 :

0. 前回会合議事録 (案)
1. 品質マニュアルについて [山野委員]
2. グループAの骨子案 [岩本委員]
3. JENDL-4の整備について [柴田委員]
4. 核データ品質保証のための保証書記載項目の検討 [瑞慶覧委員]
5. 積分検証に用いた断面積データ処理、輸送計算手法、検証方法・手順の記録 [須山委員]
6. 核データの品質保証のための積分検証の考え方 [中島委員]
7. 炉心核設計コードの信頼性評価 [田原委員]
8. 積分検証の記録について (高速炉核設計基本データベースの場合) [石川委員]
9. シグマ委員会品質保証検討グループ会合資料 [奥村委員]
10. NEA/NSC/DOC(2006)2 Evaluation Guide for the IRPhEP (参考資料)
11. 品質マニュアル記載事項 (案) [吉田委員]

議 事 :

1. 前回会合議事録 (案) の確認がなされた。
2. 山野 GL より資料 1 に基づき、ISO9001:2000 における品質マニュアルの要求事項と文書化についての規定および考え方が説明された。品質マニュアルは「組織の品質マネジメントシステム(QMS)を規定する文書」であり、適用範囲、QMS について確立された“文書化された手順”、QMS のプロセス間の相互関連に関する記述が要求事項である。下位基準として手順書があり、様式や記録が作成される。
3. 岩本委員より資料 2 に基づき、評価手法・手順、計算方法、計算パラメータ、評価結果の記録についての項目が抽出された。計算コードについてはバージョンや入手方法についての記載が必要であるとのコメントがあった。
4. 柴田委員より資料 3 に基づき、JENDL-4 の整備における実施体制・手順、評価方法、データベース作成についての手順が述べられた。
5. 瑞慶覧委員より資料 4 に基づき、評価に関する品質保証のための記載事項・キーワードの説明がなされた。
6. 吉田委員より資料 11 に基づき、評価に関する記載事項の説明がなされた。

7. 須山委員より資料 5 に基づき、積分検証に関する記載事項の説明がなされた。
8. 中島委員より資料 6 に基づき、積分検証に関する記載事項の説明がなされた。
9. 田原委員より資料 7 に基づき、炉心核設計コードの検証の手順と炉心計算に用いられる核データの仕様項目および要求事項に関する説明がなされた。
10. 石川委員より資料 8 に基づき、高速炉核設計基本データベースにおける積分検証の記録について説明がなされた。また、マインドマップによるキーワードの説明がなされた。
11. 奥村委員より資料 9 に基づき、積分検証に関する記載事項として、資料 10 の IRPhE のガイドラインに準拠した項目および様式が説明され、炉定数ライブラリ、解析モデル、解析フロー、解析手法と解析結果、感度解析・誤差評価、実験との比較・考察、参考文献などの項目が説明された。
12. 核データ評価および積分検証における記載事項の項目名・キーワードがおおむね抽出されたので、これらの中から記載内容として必須な項目を抽出する作業を A、B、C グループがそれぞれ行うこととした。次回会合では A グループが、実際に評価した U-238 を例として、その評価手順をフローチャートにまとめ、必須項目の抽出結果を報告することとした。また、性能保証のあるべき要件とは何かについて議論・検討することとした。

(参考) A グループ：吉田、瑞慶覧、柴田、岩本

B、C グループ：山野、中島、上松、田原、須山、奥村、石川

次回予定：2006年10月13日(金) 13:30-17:30 場所：システム計算科学センター会議室(上野)

次回予定議題：記載事項の必須項目(Aグループ)の検討
性能保証の要件についての検討

以上